

日印原子力協定反対 首相官邸前祈念行動に参加して

南無妙法蓮華經

日本山妙法寺僧侶 武田 隆雄

去る十二月十二日、首相官邸前に行き、日印原子力協定反対・武器輸出反対の市民団体主催の行動に参加、日本山僧侶・信徒十名、キリスト者二十名など約百五十名の市民が集まり、ご祈念申し上げました。集会は、「原発売るな」「インドに売るな」「武器を売るな」などとコールをしたり、「福島原発事故の放射能被害が収まっていない中、他国に原発を輸出すべきではない」とのインドの市民のメッセージがインターネットで寄せられました。残念ながら、安倍首相とモディ首相の間で、日印原子力協定が合意され、武器輸出協定も締結されてしまいました。これによって、日本がインドの核兵器開発に手を貸すことになり、海上自衛隊の救難飛行艇が輸出されることとなります。被爆都市広島・長崎両市長も中止を求めている日印原子力協定ですが、インドの核大国化がさらに進んでいくこととなります。御師匠様のインドが世界平和を作っていく中心になってほしいとするお意（こころみ）に反する、このたびのインドの行き方に深い懸念を持つと同時に、今後、日本政府が、インドの核大国化に手を貸すことのないよう祈りつとめていきたいと思えます。

合掌

◇インド各地でも十二日、日本との原子力協定に反対する抗議行動が首都ニューデリーなど各地で繰り広げられました。「日本は原発災害を輸出するな」などと書かれたプラカードが掲げられました。